

①施策と解決される地域課題

施策	解決される地域課題
1. 公共施設のZEB化	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の長寿命化 ・レジリエンスの向上 ・光熱費削減 ・職場環境の向上 ・まちの魅力向上
2. モデルハウスの活用によるZEHの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境・景観の向上による定住促進 ・再エネ・蓄電池の普及による地域レジリエンスの向上 ・発電量の見える化による環境意識の向上 ・エネルギー自給率の向上・エネルギー代金の域外流出抑制
3. 環境基金の検討と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンに使用できるお金が増え、同時にさまざまな地域課題を解決できる
4. 事業者との協働による再配達防止の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・配送業者の人材不足の解消 ・住環境の向上による定住促進、 ・ゼロカーボンシティやお推進協議会の会員数の増加につなげ、協議会組織の体制強化によるゼロカーボンシティの実現をめざす。
5. 地域循環共生圏	<ul style="list-style-type: none"> ・自立分散型社会の実現 ・人口の流入促進・空き家問題の解決 ・森林整備活動の人員の増加 ・間伐材をバイオマス発電の燃料としての活用を検討し、再エネ率の向上 ・生態系サービスが保全・活用され、吸収源が確保 ・エネルギーの自給自足についてこどもたちをはじめとした市民に啓発

令和4年度第1回（第12期第2回）
八尾市環境審議会温暖化対策部会
令和4年7月29日
資料2別紙

②施策の実施目標

カテゴリ	2030年度目標例
1. 再エネの利用促進	八尾市内に設置している太陽光発電設備を現行の〇倍にする。（現行：〇〇） 八尾市内のエネルギー消費量の〇倍に相当する太陽光発電設備を導入する。
2. 事業者・住民の削減活動促進	新築建築物についてZEH、ZEB化を標準とする。
3. 地域環境の整備	乗用車の〇割を次世代自動車にする。 八尾市内のEV充電設備を現行の〇倍にする。（現行：〇〇）
4. 循環型社会の形成	資源化されている量を除くごみ処理量を57,000tにする。（八尾市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）2028年度目標より）